

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2017年49週 (12月1週 12/4~12/10)

2017年11月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

集団かぜの発生、インフルエンザ、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、年末年始における海外での感染症予防
 定点医療機関コメント
 インフルエンザ、感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌感染症、マイコプラズマ感染症、咽頭結膜熱、手足口病等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(30)、細菌性赤痢(3)、腸管出血性大腸菌感染症(1)、A型肝炎(2)、デング熱(1)、アメーバ赤痢(1)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(1)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(1)、侵襲性肺炎球菌感染症(8)、梅毒(1)

2017年11月報

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

集団かぜの発生(健康対策課発表)

発表日	管轄保健所	ネットあいち URL
12月8日	半田、津島	集団かぜの発生について(2017-2018シーズン) http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/syuudankaze2.html http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/ichiran.pdf
12月11日	半田、豊川、西尾、新城、知多	
12月12日	豊川、江南	
12月13日	半田、衣浦東部	

【参考ページ】

名古屋市: 集団かぜによる学級閉鎖等の状況(12月13日更新)
<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-11-0-0-0-0-0.html>

岡崎市: インフルエンザ、集団かぜの発生状況(12月13日更新)
<http://www.city.okazaki.lg.jp/1100/1107/1146/p015469.html>

インフルエンザ(図1)

49週の定点当たり報告数は2.46と流行開始基準(1.0)を超えています。48週342人、49週480人です。2017/2018シーズンに病原体定点等から寄せられた検体よりA型(AH1pdm09、AH3)及びB型(山形系統)インフルエンザウイルスが検出されています。

【参考ページ】

インフルエンザが流行入りしました!(12月6日発表)
<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/29influryukoiri.html>

2017/18シーズンインフルエンザウイルス分離・検出情報
http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri17_18.html

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ
http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map_new.html

インフルエンザ情報ポータルサイト(愛知県)
<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/index.html>

咽頭結膜熱(図2)

49週の定点当たり報告数は0.64、48週115人、49週116人(1.01倍)です。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

49週の定点当たり報告数は2.19、48週382人、49週399人(1.04倍)です。

【参考ページ】A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a_youren.html

感染性胃腸炎(図3)

49週の定点当たり報告数は5.38、48週868人、49週980人(1.13倍)です。

【参考ページ】疾患別ウイルス検出状況

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

ノロウイルス等検出速報(国立感染症研究所)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-noro.html>

年末年始における海外での感染症予防について

【参考ページ】年末年始の海外旅行では感染症に注意しましょう(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000186315.html>

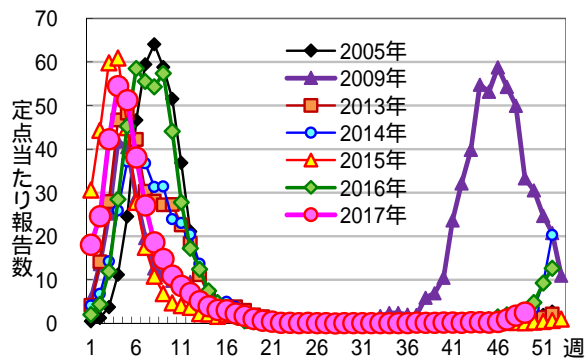


図1 インフルエンザ

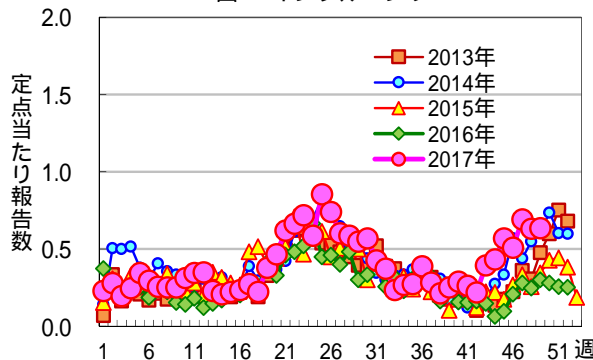


図2 咽頭結膜熱

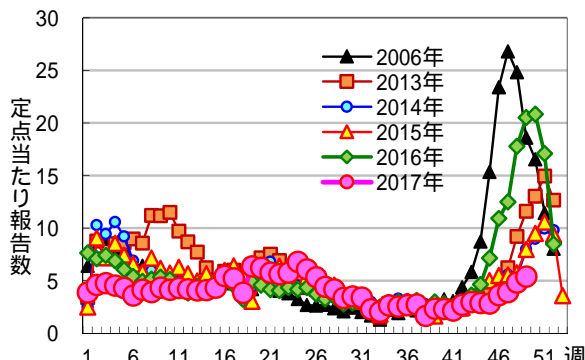


図3 感染性胃腸炎

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

インフルエンザはA型 1例、B型 2例
【一宮市 あさのこどもクリニック】
インフルエンザA型 2名(同クラス)
【一宮市 後藤小児科医院】
ノロウイルス腸炎 1例
【一宮市 ささい小児科】
感染性胃腸炎(軽症)やや多いです。
手足口病(発疹少なめ)散発しています。
【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】
インフルエンザB 2名
手足口病 3名ありました。
【江南市 みやぐちこどもクリニック】

アデノ感染症続発中
手足口病散見
インフルエンザB型 4例あり
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
カンピロバクター腸炎 20代男
インフルエンザB 1名
【北名古屋市 田中クリニック】
27歳男 マイコプラズマ感染症
【清須市 丹羽医院】
インフルエンザB型 7名
【津島市 医療法人参育会加藤医院】

尾張東部地区

インフルエンザA型 (1歳男)
カンピロバクター 2例(3歳女 10歳男)
O25(3歳女)
溶連菌流行持続
その他マイコプラズマ等
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
インフルエンザA型 1名
B型 2名
胃腸炎が増えています。
【日進市 みやがわクリニック】
インフルエンザ陽性報告 4名(小児 3名
成人 1名 すべてA型)
ERではfluAが出ました。学校・幼稚園でも出
ているようです。
RSVは乳児であるようです。
【春日井市 春日井市民病院】
胃腸炎多数
B型インフル 1例
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
インフルエンザはA型 2例、B型 3例
ノロウイルスによる胃腸炎もみられます。
また細菌性赤痢 1名
【小牧市 志水こどもクリニック】
インフルエンザ 男 2名
【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

インフルエンザA型 1名
【半田市 医療法人林医院】
感染性胃腸炎 10名
普通感冒多い
【南知多町 医療法人大岩医院】
インフルエンザB型 13名
【武豊町 なかしまキッズクリニック】
インフルエンザA型 2名
インフルエンザB型 13名
【半田市 ひいらぎこどもクリニック】
12歳男 インフルエンザB型
溶連菌感染症 5名
胃腸炎が増えてきました。
【大府市 まえはらこどもクリニック】
アデノウイルス感染症 2名(3歳)
マイコプラズマ感染症 1名(3歳)
【東海市 もしもしこどもクリニック】
インフルエンザB型 1名(40代女)
A型 2名
【東海市 こいで内科医院】
FLU A 12例 B 6例
ノロ 6~11か月 男1名
【東海市 公立西知多総合病院】

西三河地区

インフルエンザA(+) 4歳男
StrepA(+) 5歳男
アデノ(+) 4歳女 5歳女
E.coli(O18) 17歳女
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
マイコプラズマ 20歳以上女 1人
【豊田市 わかその東洋クリニック】
インフルB型 1人
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
インフルエンザ A型 2名 B型 1名
感染性腸炎増えています。
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
インフルエンザB型 5名 A型 8名
【岡崎市 にいのみ小児科】
インフルエンザB型 5名
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
アデノウイルス(咽頭) 3歳男 2名
インフルエンザ 6名 全部B
胃腸炎が目立ちます。一部ノロウイルス(+)
【岡崎市 花田こどもクリニック】

インフルエンザ 3名 すべてB型
【岡崎市 粟屋医院】
インフルエンザA型 3名
【岡崎市 医療法人糸洲医院ともキッズクリニック】
溶連菌感染症が引き続きいます。
【碧南市 永井小児クリニック】
インフルエンザA型 5名
インフルエンザB型 6名
【安城市 愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院】
インフルエンザA型 4名
【知立市 宮谷クリニック】
インフルエンザ 全てBです。
【みよし市 みよし市民病院】
インフルエンザA型 3名 B型 2名
【西尾市 西尾市民病院】
インフルエンザ 8名(A型 3人、B型 5人)
と増加傾向です。
【西尾市 山岸クリニック】

東三河地区

インフルエンザ陰性の発熱疾患が増えています。
感染性胃腸炎が増えてきました。
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
インフルエンザB型 1名(63歳男)
【豊橋市 医療法人山本内科】
インフルエンザA型 2名
【豊橋市 医療法人杉浦内科】

インフルエンザA型 1名(37歳女)
【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】
インフルエンザA型 4人
【豊川市 ささき小児科】
インフルエンザA型 2名 B型 1名
【豊川市 豊川市民病院】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2017年12月13日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki jun161121.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2017年49週報告数			2017年総計(1～49週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市(16保健所合計)	12	3	2	540	123	128
豊田市				61	14	12
豊橋市	4	1	2	78	14	37
岡崎市	1			46	16	13
一宮	2			100	32	36
瀬戸	1			90	12	35
半田	1			57	15	17
春日井				109	20	40
豊川	4	1	2	42	16	6
津島				79	12	22
西尾				32	9	5
江南				43	12	11
新城	1		1	7	2	4
知多				54	24	14
清須				33	13	7
衣浦東部	4		2	82	16	25
合計	30	5	9	1,453	350	412

細菌性赤痢（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	推定感染地域
1	春日井	3歳	男	11/30	12/1	12/6	国内
2	春日井	45歳	男	-/-	12/7	12/9	国内
3	春日井	6歳	女	-/-	12/7	12/9	国内

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	豊川	24歳	男	-/-	11/29	11/29	O115、VT1(+) 無症状病原体保有者

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

A型肝炎（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	一宮	40歳	男	不明	国内
2	江南	3歳	女	不明	パキスタン

デング熱（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	50歳	男	デング熱	タイ

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	一宮	64歳	男	腸管アメーバ症	経口	カンボディア

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染経路	推定感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	名古屋市	61歳	男	医療器具関連感染	国内	無

侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	一宮	94歳	女	無	国内

侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	70歳	男	無	国内
2	名古屋市	62歳	男	無	国内
3	名古屋市	2歳	男	有	国内
4	名古屋市	75歳	女	不明	国内
5	豊橋市	64歳	男	不明	国内
6	瀬戸	72歳	男	有	国内
7	豊川	84歳	女	不明	国内
8	衣浦東部	74歳	女	無	国内

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	瀬戸	33歳	女	早期顕症	性的接触	ブラジル

2017年11月報

(2017年12月12日現在、診断週に基づく集計)

11月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲〕

2016～2017年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数		2017年11月			2017年	2016年
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (7)	結核	94 (32)	52 (9)	146 (41)	1,418 (399)	1,740 (444)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (0)	9 (2)
	腸管出血性大腸菌感染症	8 (4)	4 (1)	12 (5)	175 (42)	160 (53)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	12 (2)
四類 (44)	E型肝炎	0	0	0	6	5
	A型肝炎	1	2	3	11	5
	エキノコックス症	0	0	0	1	0
	オウム病	0	0	0	2	1
	ジカウイルス感染症*	0	0	0	0	2
	チクングニア熱	0	0	0	1	3
	つつが虫病	2	0	2	2	3
	デング熱	2	0	2	22	20
	日本紅斑熱	0	0	0	0	1
	ブルセラ症	0	0	0	1	0
	マラリア	0	0	0	1	1
	レジオネラ症	7	4	11	100	97
五類 (22)	アメーバ赤痢	1	1	2	50	68
	ウイルス性肝炎	1	0	1	9	5
	内訳 B型	1	0	1	8	4
	内訳 その他	0	0	0	1	1
	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症	11	2	13	108	76
	急性脳炎	2	1	3	39	39
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	9	13
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	0	2	32	26
	後天性免疫不全症候群	1	2	3	61	99
	内訳 無症候性キャリア	1	1	2	35	64
	内訳 AIDS	0	1	1	23	32
	内訳 その他	0	0	0	3	3
	ジアルジア症	0	0	0	1	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3	2	5	33	25
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	2	6
	侵襲性肺炎球菌感染症	9	7	16	184	156
	水痘(入院例に限る。)	0	1	1	16	14
	梅毒	15	15	30	321	259
	内訳 無症候	9	5	14	101	69
	内訳 早期顕症	6	10	16	211	181
	内訳 晩期顕症	0	0	0	8	9
	内訳 先天梅毒	0	0	0	1	0
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	11	11
	破傷風	2	0	2	10	5
	風しん	0	0	0	3	20
	麻しん	0	0	0	1	5
	薬剤耐性 アシネトバクター感染症	0	0	0	1	2
	総計	161	93	254	2,643	2,890

* 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

疾病名	2017年11月			2017年 累計		2016年 総計			
	愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体			
				愛知県全体	合計	愛知県全体	合計		
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	27	41	68	836	1,462	905	1,555
		女	37	16	53	626	499	650	633
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	5	7	12	203	286	231	313
		女	19	11	30	296	106	402	313
	尖圭コンジローマ	男	6	9	15	192	494	207	554
		女	5	1	6	94	71	106	313
	淋菌感染症	男	13	21	34	431	934	483	554
		女	3	1	4	63	140	71	554
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		70	11	81	934	957	957	957
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		4	0	4	140	102	102	102
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	2	0	0	0

感染症の類型及び定義(感染症法)

2016年11月21日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症* (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (47疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスのよるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一~三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一~三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

グラフ総覧

2017年49週(12月4日～12月10日)

愛知県(名古屋市データ含む)の1999年13週から2017年49週までの定点当たり報告数のうち、
本年を含む過去5年間及び特徴的に推移した年についてグラフ化したものです。

*各疾病のグラフを個別に利用される場合は、衛生研究所ウェブサイトからExcelファイルをダウンロードしてください。

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.zip> *ExcelファイルはZIP圧縮してありますので適当な場所に解凍後ご利用ください。

